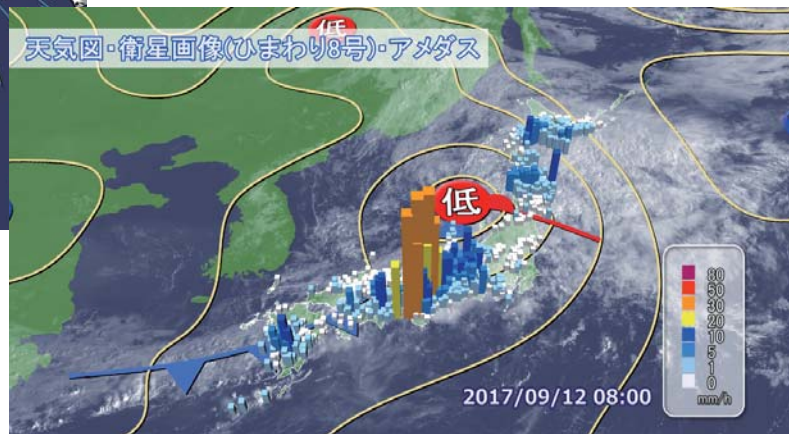
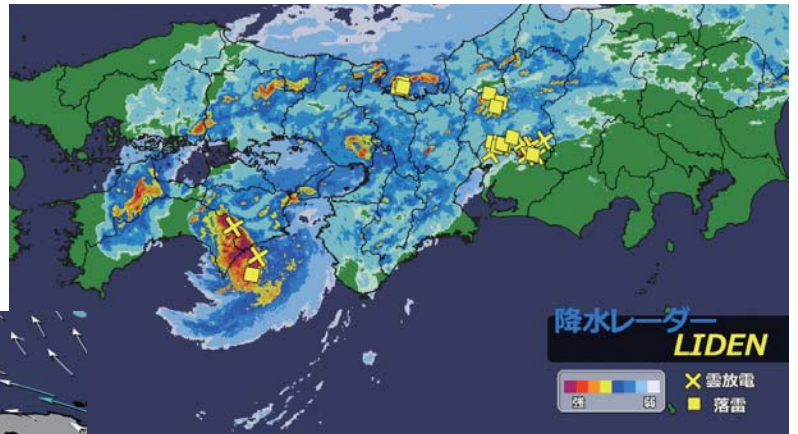
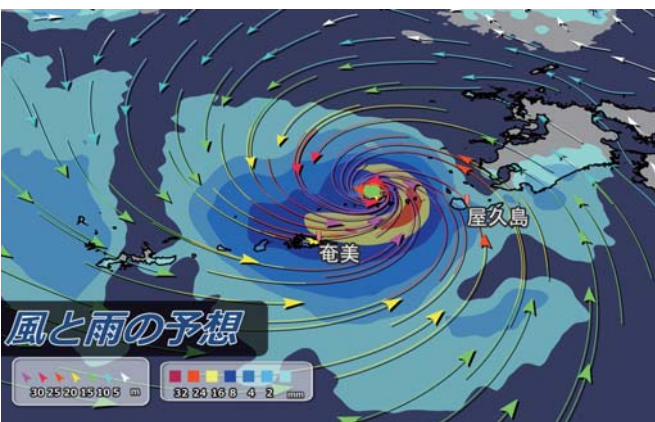


BOLT Weather Station

3D気象情報作画システム

システムの概要

本システムは、気象庁及び民間気象会社などから送られてくるGPVなどの気象データを解析し、放送送出向けの各種気象画面(動画・静止画・連番静止画)を作成する事が可能です。



(社)日本映画テレビ技術協会
MPTE AWARDS 2013
第66回 映像技術賞
審査員特別賞受賞

取扱可能な気象データ

GPV

- ・全球数値予報モデル(GSM全球/日本域)
- ・メソモデルGPV(MSM)
- ・局地数値予報モデル(LFM)
- ・ガイダンス(GSM/MSM)
- ・黄砂
- ・北西太平洋海面水温
- ・台風の暴風域に入る確率
- ・土壌雨量指数
- ・土砂災害警戒判定メッシュ情報
- ・紫外線情報
- ・雷ナウキャスト
- ・竜巻発生確度ナウキャスト
- ・PM2.5
- ・高解像度降水ナウキャスト
- ・全球波浪数値予報モデルGPV
- ・沿岸波浪数値予報モデルGPV
- ・推計気象分布(天気・気温)
- ・危険度分布

など

衛星画像

- ・ひまわり8号
(フルディスク/日本域/機動観測域)※
- ・ひまわり9号
(フルディスク/日本域/機動観測域)※

※オプションプラグインとなります

その他

- ・天気図
- ・アメダス(正時毎/10分毎)
- ・台風
- ・落雷情報
- ・メッシュ予報
- ・雷監視システム(LIDEN)

システムの主な特長

レイヤー

レイヤーを基本単位として複数のデータレイヤー・素材レイヤーを重ねることで作画を行います。データレイヤーには衛星画像、GPV、アメダス、台風、天気図、素材レイヤーには地図、緯度経度線、プレート(タイトル・凡例)などがあり、自由に組み合わせることができます。また、GPVレイヤーを活用し、相当温位やシヨワルター安定指数、雨雪判別などの表現も可能です。

地図図法

ポーステレオ図法をはじめとして、正距円筒図法、モルワイテ図法、メルカトル図法など多様な地図図法に対応しています。

カメラモーション

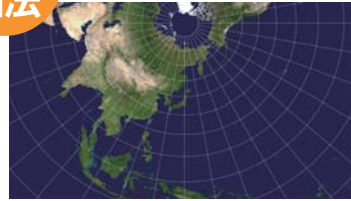
パン・ズームなどに加え、3D空間を自由に移動するカメラを定義して訴求力のあるモーション表現を行うことができます。

高速レンダリング

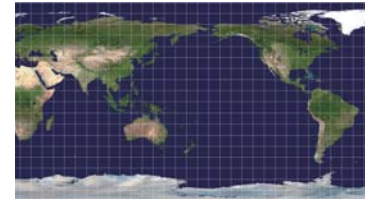
GPUを最大限活用した設計によりレンダリング時間の短縮を実現しています。

例) 全国合成レーダー 0.3秒
GSM全球 0.25秒

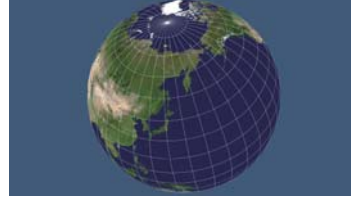
地図図法



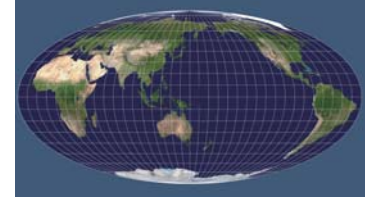
ポーステレオ図法



正距円筒図法



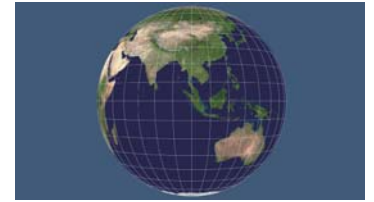
球



モルワイテ図法



メルカトル図法

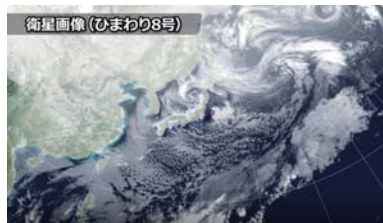


Normalized Geostationary 図法

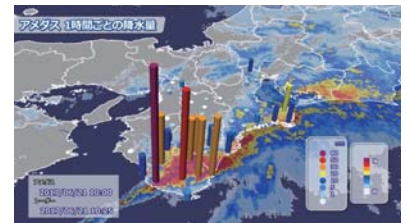
画面例



衛星画像 (ひまわり8号)



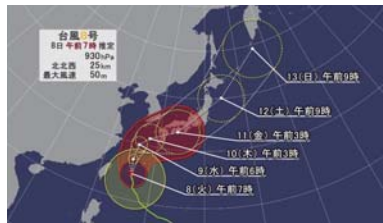
衛星画像 (ひまわり8号)



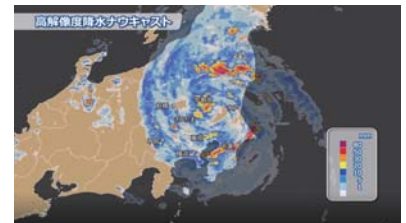
アメダス 1時間ごとの降水量



ひまわり8号 台風



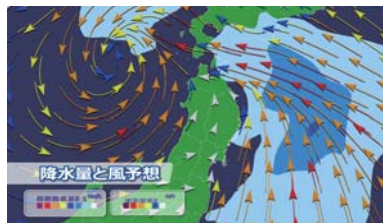
台風 進路予想



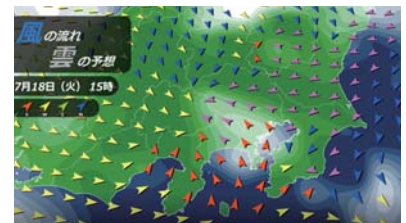
高解像度降水ナウキャスト



土壌雨量指数



降水量と風予想



風の流れ 雲の予想

- このパンフレットの内容は、予告なく変更する場合があります。
- このパンフレット内で使用される全ての商標または登録商標は、それらを所有する企業または組織に帰属します。

© 2017 CrossImaging Inc. All rights reserved. Printed on Nov. 2017.

衛星画像:株式会社 写真科学

[開発元]

クロスイメージング株式会社

<http://crossimaging.jp/>

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-5-1 A-PLACE五反田駅前9F

TEL:03-6417-9190 FAX:03-6417-9195